

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 特 許 公 報 (B 1)

(11)特許番号

第2980595号

(45)発行日 平成11年(1999)11月22日

(24)登録日 平成11年(1999) 9月17日

(51)IntCl.⁸

識別記号

F I

A 6 1 F 5/453

A 6 1 F 5/453

請求項の数1 (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平10-254704

(22)出願日 平成10年(1998) 9月 9日

審査請求日 平成10年(1998) 9月 9日

(73)特許権者 598123471

山本 鈴子

大分県別府市大字鶴見2881番地の233

(72)発明者 山本 鈴子

大分県別府市大字鶴見2881番地の233

(74)代理人 弁理士 赤木 光則

審査官 新井 克夫

(56)参考文献 特開 平9-253115 (J P, A)

特開 昭63-77443 (J P, A)

実開 昭62-50617 (J P, U)

実開 昭62-172418 (J P, U)

実開 昭57-54417 (J P, U)

実公 平7-19462 (J P, Y 2)

実公 平6-1036 (J P, Y 2)

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 男性用使い捨て収尿袋

3

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】 ①袋本体(1)の開口側に、伸縮性を有し、且つ稜線(A)が上側において凸状をなし、下側において凹状をなす折返し部(2)を設け、該折返し部(2)に前記稜線(A)に沿って、紐通し穴(6)を設け、該紐通し穴(6)に紐(7)を縫うように挿通し、前記折返し部(2)の上側から出るようにしている。②粘着面(8)に剥離紙(9)を貼付した片面粘着シート(B)を、前記粘着面(8)を下側にして、前記紐(7)に上下動可能に装着している。以上のことを特徴とする男性用使い捨て収尿袋

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、失禁尿の障害を有する人、痴呆性老人、尿閉以外で、手術中又は手術後

4

の安静期にある患者、あるいは車輛運転中のドライバーなどトイレのない環境下で行動している健常者などのペニスに装着し、排尿を処理するために使用する男性用使い捨て収尿袋に係るもので、詳しくは収尿袋のペニスへの装着及び固定部の構造に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、男性専用に使われている収尿具は、ゴム又はプラスチックなどからなり、コンドーム状又はサック状のもので、その多くは使い捨てではなく、排尿があったときには、都度取り替えていたので、次のような問題点があった。

①ペニスに着脱するとき、ペニスを手先で掴み、収尿具に誘導していたので、手先を汚染する。

②使用後は、収尿具の洗浄、乾燥、除菌作業が必要である。

③前記作業中に収尿具に亀裂などが生じ破損することがある。

④収尿具をペニスに装着するとき、収尿具がペニスから離脱しないように、収尿具の基部を輪ゴムなどによって、ペニスに締め付けることがあり、ペニスに締め痕やかぶれなどの損傷を与える。

⑤握力が弱い人は着脱が困難である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】この発明は、従来の技術で記述した問題点を解消するためになされたもので、握力の強弱には関係なく且つ手先を汚染することなく、ペニスへの着脱が容易にできる男性用使い捨て収尿袋の提供を目的とするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】この発明の男性用使い捨て収尿具は、袋本体の開口側に、上側において凸状をなし、下側において凹状をなす稜線を有する伸縮性の折返し部を設け、必要に応じて、前記袋本体の開口部を締め付けることができる締め付け手段と、前記袋本体の開口部を前記締め付け手段によって締め付けたとき、その締め付け状態を保持できる保持手段とを備えていることを特徴とするものである。

【0005】

【発明の実施の形態】この発明の実施の形態の一例を図面を参照しながら説明するに、図1～図3に示すように、袋本体1の開口側に、伸縮性を有する折返し部2を設け、前記折返し部2の稜線Aが、上側において凸状3をなし、下側において凹状4をなすように成形している。

【0006】前記折返し部2の伸縮性は、市販の紙おむつなどで実施されているように、ギャザーa、ゴム紐b又はギャザーaとゴム紐bの組み合わせなどによって付与することができる。袋本体1及び伸縮性を有する折返し部2の材質については、可燃物として処理できる市販の紙おむつの材質は、全て適用することができる。

【0007】前記稜線Aの上側における凸状3は、半円形状のかぶり部分で、ペニスに装着したとき、ペニスの上側に位置し、ペニス上側基部に連なる下腹部に当接されるので、当接力を強めるために、図1に示すように、若干前傾姿勢になるように、成形するのが、好ましいが、これに限定されるものではない。

【0008】前記稜線Aの下側における凹状4は、ペニスに装着したとき、ペニス下側と睾丸の結合部に当接する部分であり、前記凸状3と凹状4の部分とを、前記したように、ペニス上側基部に連なる下腹部及びペニス下側と睾丸の結合部に当接して、袋本体1をペニスに装着すると、袋本体1の位置決めが正しくでき、安定的に装着することができる。

【0009】また、動き回る被着用者に適用する場合など、必要に応じて、図1～図3に示すように、稜線Aに

沿って、折返し部2に紐通し穴6を設け、この紐通し穴6に紐7を、例えば、縫うように、挿通し、図1～図3に示すように、折返し部2の上側から出るようにしておき、袋本体1をペニスに装着したのち、紐7を締めて、袋本体1の開口部5を強制的に狭め、ペニスに確実に固定することができる締め付け手段を備えている。この場合、袋本体1の開口部5の締め付けを確実にするために、紐7を、少なくとも、一ターンさせておくことが好ましい。なお、紐7は、図2に示すように、袋本体1の内面には、露出していないので、紐7を締め付けたとき、紐7が直接ペニスに当たり、ペニスの表面を損傷させるおそれは全くない。紐7は、ギャザーaを備えた布製のものか、ゴムと綿糸などを混打ちしたものなど、若干の伸縮性を有するものの方が、締め具合がよくなるので、適当である。

【0010】さらに、例えば、粘着面8に剥離紙9を貼付し、前記紐7を通す貫通孔10を設けた片面粘着シートBを、図6に示すように、前記紐7に上下動可能に装着しておき、紐7を締め、袋本体1の開口部5を締め付けた状態で、片面粘着シートBの剥離紙9を剥ぎ取り、下方に移動させ、紐7の締め付けによって、皺が生じている折返し部2の上面に、片面粘着シートBの粘着面8を押し当て、皺が戻らないように、折返し部2の上面に粘着させることによって、締め付け状態を保持できる保持手段を備えている。また、別の保持手段としては、例えば、図7に示すような片面粘着テープCの一端を、図8に示すように、折返し部2の側面に取り付けておき、紐7によって、袋本体1の開口部5を締め付けた状態で、剥離紙9を引き剥がしながら、折返し部2の上面に、片面粘着テープCを巻き付け、粘着させている。前記した二つの保持手段を併用してもよい。また、片面粘着テープCとしては、図示は省略したが、市販の紙おむつなどに使用されているように、折り曲げて、粘着面をくっつけ剥離紙を省略した構造のものも適用することができる。なお、保持手段としては、上記二例に限定されるものではなく、例えば、安全帽などのあご紐や紐状ネクタイなどを締め付け固定する固定具などのように、二本の紐を締め付けた状態で固定することができる固定具は、全て保持手段として使用することができる。

【0011】実施に際しては、袋本体1と折返し部2の間に、手指を差込み、折返し部2の凸状3と凹状4の部分とを、前記したように、ペニス上側基部に連なる下腹部及びペニス下側と睾丸の結合部に当接するまで、袋本体1を深く差込むと、折返し部2の収縮力によって、ペニスの基部を程良く締め付け、装着は終了する。使用後は、ペニスから収尿袋を外し、可燃物のゴミとして処理する。

【0012】被着用者が動き回る場合には、ペニスへの固定を、さらに確実にするために、前記締め付け手段と前記保持手段を備えた収尿袋を使用し、袋本体1をペニス

7

に装着したのち、紐 7 を締め、開口部 5 を強制的に狭めて、袋本体 1 をペニスに確実に固定する。さらに、紐 7 を締め付けた状態で、前記したように、片面粘着シート B 及び片面粘着テープ C を、折返し部 2 に粘着又は巻き付け、粘着することによって、装着作業は終了する。使用後は、片面粘着シート B 及び片面粘着テープ C を外し、紐 7 を弛め、袋本体 1 をペニスから外し、可燃物のゴミとして処理する。

【0013】

【発明の効果】この発明は上述のように構成されているので、次のような効果を呈する。

①ペニスに手を触れることなく、装着できるので、清潔である。

②袋本体と折返し部の間に指を差込み装着できるので、自分で装着する際には、指を差し込んだままの状態、手前に引き込めばよいから、握力が弱い人でも、容易に装着ができる。

③折返し部の稜線部に凸状及び凹状部があるので、ペニスへの固定を安定させる。

④開口部の締付け手段と締め付け状態保持手段を備えているので、袋本体をペニスに確実に固定できる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 発明の実施の一例を示す側面図

【図 2】 図 1 における底面図

【図 3】 図 1 における平面図

【図 4】 片面粘着シートの一例を示す側面図

【図 5】 図 4 における底面図

【図 6】 発明の実施の一例を示す側面図

【図 7】 片面粘着テープの一例を示す側面図

8

* 【図 8】 発明の実施の一例を示す側面図

【符号の説明】

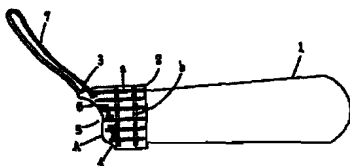
- 1 袋本体
- 2 折返し部
- 3 凸状
- 4 凹状
- 5 開口部
- 6 紐通し穴
- 7 紐
- 8 粘着面
- 9 剥離紙
- 10 貫通孔
- A 稜線
- B 片面粘着シート
- C 片面粘着テープ
- a ギャザー
- b ゴム紐

【要約】

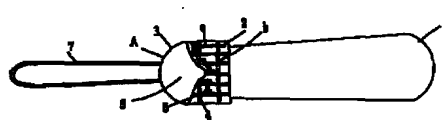
【課題】 握力の強弱には関係なく且つ手先を汚染することなく、ペニスへの着脱が容易にできる男性用使い捨て収尿袋の提供

【解決手段】 この発明の男性用使い捨て収尿具は、袋本体 1 の開口側に、上側において凸状 3 をなし、下側において凹状 4 をなす稜線 A を有する伸縮性の折返し部 2 を設け、袋本体 1 の開口部 5 を締付けることができる締付け手段と、袋本体 1 の開口部 5 を前記締付け手段によって締付けたとき、その締付け状態を保持できる保持手段とを備えており、手先を汚染させることなく、ペニスへの着脱が簡単且つ容易に行えるようになっている。

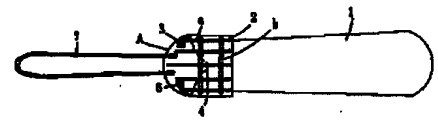
【図 1】



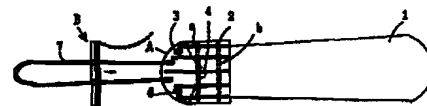
【図 2】



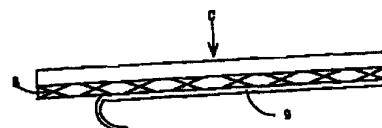
【図 3】



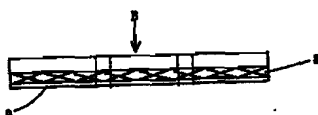
【図 6】



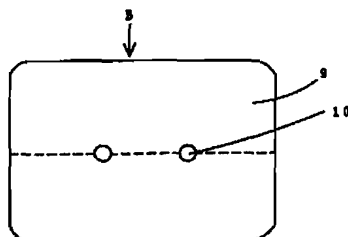
【図 7】



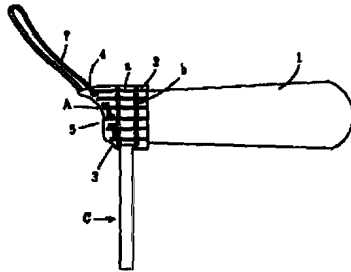
【図 4】



【図 5】



【図8】



フロントページの続き

(58)調査した分野(Int.Cl.⁶, DB名)

A61F 5/453

A61F 5/44

